

令和8年度 学校経営計画

1 教育目標

ふるさとや自他を愛し、主体的に考えて行動し、未来を切り拓く児童の育成
～安心・前進・協働を柱に、心身ともに健やかに学ぶ学校～

2 教育方針

「石川の教育振興基本計画」「七尾市教育大綱・七尾市教育ビジョン」を踏まえ、「ふるさと七尾を愛し誇りに思い、輝く未来を切り拓く人づくり」の育成に向けた和倉っ子のための教育活動の推進を図る。

3 中・長期目標

- ① 自他を尊重し、共に高め合う学校
- ② ふるさと七尾・和倉を愛し、未来を創る学校
- ③ 進取の心で創出する、協働的な学校

4 重点目標と努力目標

安心



(1) 確かな学力の育成 ～「学ぶ力」を育て、主体的に学ぶ子どもに～

① 学習者主体の授業づくりの推進

- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（学ぶ意義の理解と目的意識をもった課題解決力の育成）
- ・ 多様な視点に触れ思考を深める協働的な学びと、共感的な人間関係を育む授業づくり
- ・ 単元デザインの共有と「共通の軸」の確立

② 基礎的・基本的な学力の確実な定着

- ・ 単元テスト・「和倉検定」等による達成感と定着の向上
- ・ 学力向上ロードマップや学力向上プランの共通実践と課題分析
- ・ 帯タイムや朝自習の計画的・継続的な実施

③ with GIGA の積極的な推進

- ・ 1人1台端末の有効活用による自己決定の支援
- ・ 持ち帰り端末を活用した反転学習と家庭学習の連動による理解の深化
- ・ 情報モラル教育の徹底と教育DXの推進

(2) 豊かな心の育成 ～「ともに生きる力」を育て、思いやりある子どもに～

① 自他を尊重し合う教育の推進

- ・ 人権教育・道徳教育・特別活動・キャリア教育の一体的な推進
- ・ 本物にふれる体験や出前授業などを取り入れたカリキュラム・マネジメントの推進

② いじめ・不登校・問題行動等の未然防止と組織的対応

- ・ 子どもの小さなサインを見逃さない日常的な関係づくりと未然防止の徹底
- ・ 迅速な報告・連絡・相談による組織的な「チーム支援」対応体制の確立
- ・ 教育相談体制の整備と児童・保護者との信頼関係づくりの推進
- ・ スクールカウンセラー、子育て支援課、児童相談所、警察、発達支援センター等、関係機関との連携

③ 一人一人のよさを認め合う特別支援教育の充実

- ・ 個に応じた指導と支援体制の整備（教育的ニーズの的確な把握と対応）
- ・ 通常の学級における合理的配慮と学びの場の工夫

(3) 心身共に健康な児童の育成 ～「生きる力」を支える、健やかな心と体を育む～

① 健康で安全な生活習慣の確立

- ・ 早寝・早起き・朝ごはん、挨拶・清潔・時間管理など生活リズムの安定と基本的な生活態度の育成

② 心の健康に配慮した支援体制の充実

- ・ 教職員、SCとの連携による相談体制の強化

③ 防災・安全教育の充実と危機管理意識の高揚

- 年間指導計画に基づく交通安全，防犯，災害・火災避難等の系統的な安全指導と危機管理意識の育成

④ 体力の向上のための指導と習慣づくり

- 「体力アップ1校1プラン」や「スポチャレいしかわ」など，全校を挙げた継続的な取組の推進

前進

(4) より良い自分を目指す児童の育成 ～主体的に挑戦し，自らを高め続ける力を育む～

① 自己肯定感の育成を基盤とする自己表現力の向上

- 自分の考えや思いを伝え合う活動の充実
- 友達や教師からの肯定的なフィードバックを可視化し，自己の良さや成長を実感させる取組の充実

② 主体的に挑戦し続ける態度の育成

- 目標設定と振り返りのサイクルの確立
- 児童自身が挑戦内容を選択・決定する機会の設定による主体的な活動の推進

(5) 家庭・地域とともに復興応援大作戦 ～「和倉大好き！」～がんばろう和倉！～

① 七尾・和倉の資源を活用し、ふるさとへの誇りを基盤としたSDGsの視点による探究的な学びの推進

- 自然・歴史・文化・人など，ふるさと和倉の地域資源を教材化し，SDGsの視点を取り入れた体験的・探究的なふるさと教育の推進
- 「ふるさと和倉」を「日本一の誉れあり」と語れる子どもの育成

② 保護者・地域との連携による学校づくりの改善と充実

- 学校評価や保護者アンケートの結果を踏まえた改善サイクルの確立



協働

(6) 仲間と共に高め合う児童の育成 ～互いを認め合い，力を合わせてよりよい学校生活を創る～

① 互いを認め合う関係づくりの推進

- 友達のよさに気づき，伝え合う活動の充実

② 主体的な集団づくり

- 学級活動や児童会活動を通して，自分たちでよりよい学校生活を創る意識の醸成

(7) 「チーム和倉」による全教職員の協働 ～「安心・前進・協働」を土台とした，チームによる学校づくり～

① 組織的・協働的な支援体制の構築

- 共に悩み，共に支え合う「チーム和倉」の意識の醸成と連携によるチーム対応の強化

② WWS（わくら・ワーク・スタイル）による働き方改革の推進と教職員のウェルビーイング

- 教職員の心の安定・やりがい・働きやすさに配慮した職場環境の整備
- 毎週水曜日の定時退校日（18時），最終退校時刻（19時）の厳守
- 教育DXや生成AIの活用による業務改善，平準化，効率化の推進

③ 教職員の資質・能力の育成（人材育成）

- 各ステージに応じた教員育成指標や研修履歴に基づく計画的な育成
- OJT（職場内研修），若手研修（若プロ），GIGA活用の校内研修，服務規律に関する研修の充実

5 めざす学校像

- ◆ 「自分・友達・和倉 大すき！」和倉っ子

6 めざす児童像

- ◆ 自ら考え行動する かしこい子（知）
- ◆ 自他を大切にする 心豊かな子（徳）
- ◆ 心身ともに健康で たくましい子（体）

7 めざす教師像 ～子どもとともに学び，育ち合い，未来を創る教師へ～

- ◆ 使命と責任を自覚し，服務規律・法令を遵守する教師
- ◆ 自ら率先して，知恵と工夫を出し合い，互いに高め合う教師
- ◆ 一人一人のよさや強みを活かし，「チーム和倉」の一員として協働する教師